

教育ICT活用実践事例 凡例

本資料集に掲載された事例は、平成24年度文部科学省委託「国内のICT教育活用好事例の収集・普及・促進に関する調査研究事業」において収集された事例の中から、企画委員会において精査し、校種、学年、教科等のバランスに配慮して集約し、必要に応じて実践者が加筆・修正をしたものである。また、文部科学省教科調査官等の校閲を経ている。これから授業にICT機器を取り入れたいと思っている教員の方々に活用いただくことはもちろん、すでに活用されている教員の方々には各教科における授業デザインの参考としていただきたい。

②授業内でのICT機器活用について3つの学習スタイル ● と5つの活用スタイル ■ に分類

学習スタイル：1. 個別学習 / 2. 協働学習 / 3. 一斉学習
活用スタイル：

- A. 教師説明型：授業の内容を主に教師が説明していく講義型のスタイル
- B. 児童生徒実践型：主に児童生徒の活動が中心のスタイル
- C. 同時進行型：教師の説明と児童生徒の活動が繰り返し行われるような、AとBの内容が混合しているスタイル
- D. 児童生徒発表型：児童生徒が発表する活動が中心のスタイル
- E. 児童生徒自主学習型：調べ学習など児童生徒が自分で学習していくようなスタイル

①基礎情報（校種・学年・教科等・単元名・実践者とその所属）を表示（本事業で映像収録された実践については右上に表示、映像は本事業サイトにて閲覧できる：左頁参照）

③ ICT機器の活用内容、授業内容、特に効果的なポイントを中心に実践のテーマを表示

④本時のねらいと、そのねらいを達成するためにICTをどのように活用したかを表示

⑤本実践で主に活用したICT機器・教材についてその種別と活用のねらいを表示

⑥本実践でのICT機器・教材の活用にあたり参考となるポイントを表示

⑦略案形式で、主な学習活動（時配）や、④やそれ以外で使用した教材等を表示するとともに、授業の様子や、活用場面等の写真を表示

⑧実践を行ったとき（特にICT機器・教材を活用した場面）の児童生徒の反応等を実践者がコメント

⑨実践を行ったとき（特にICT機器・教材を活用した場面）の活用効果を、評価の観点・児童生徒の具体的変容の視点で実践者がコメント

⑩実践者が感じた本実践の手応えについてコメント

※実践者の所属は実践時のもの

小学校
3年 国語 物語をつくろう ①
※ 浜松市立豊岡小学校 菊地 寛

●協働学習
●児童実践型
実践タイトル 文章と写真による構成、③の工夫

●本時のねらい

グループで作った物語を聞き手のことを考えて、感情を込めて読む、④、録音することで、実際にどんな読み方だったのか自分で確認し、よりよいものに修正することができる。また、動画編集ソフトウェアで写真を取り込み、録音した音声に合わせてデジタル物語を完成させる。

●主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

PC

デジタル物語にすることで、自分たちの読み方を聞いて何度も修正することができ、グループ1台でPCを使用して、互いに聞き合い、よりよいものになるようにした。 ⑤

PC教材

写真と音声を合わせたデジタル物語を作るために、児童にとって操作が簡単で、短時間で動画を作ることができる動画編集ソフトウェアを活用した。

●参考にしてほしいポイント

デジタル物語を作るために、写真を撮影、選択するところから始める⑥である。国語科での実践なので、一人ひとりにまず物語を十分に考えさせて書くことで、書く力を身に付けさせた。その後、グループで話し合いによって、それぞれのよいところを集めて物語を作っていた。そのためのワークシートにも写真を貼って、写真に合わせて物語が書けるように工夫をした。

学習の流れ(分)	主な学習活動と内容	ICT機器・教材、コンテンツ等
本時の導入	0 ○前時までの活動を振り返る。 ○本時の学習課題を知る。 ○活動の手順を知る。 5 ・動画編集ソフトウェアで写真を取り込み、並べる。 ・読みの練習をし、録音する。 ・動画編集ソフトウェアで、写真と録音したものを合わせる。	(写真1)
展開	80 ○動画編集ソフトウェアで写真を並び替える。 ○読みの練習をし、録音をする。 ・グループで聞き合い、思いが伝わるか確認する。 ○動画編集ソフトウェアで、写真と録音したものを合わせる。	・PC ・動画編集ソフトウェア(写真2・3)
まとめ	90 ○できた物語を視聴し、感想を書く。 ⑦ ○次時が、発表会であることを確認する。	




写真1：グループで一人ひとりが書いた物語を推敲




写真2：できた物語を読む練習をしてPCに録音




写真3：PCで編集作業

●児童生徒の反応

本学級では、4月からPCを使って新聞やリーフレットなどを作成し、⑧そのため、PCを使うことに抵抗もなく、3学期での実践ということもあり、集大成という意識で児童も取り組んだ。また、人前で話す⑧が苦手な児童も録音することによって、抵抗感なく自分の思いを上手に表現して読むことができた。

●活用効果

評価の観点	国語への関心・意欲・態度 ⑨
具体的変容	物語を録音して聞くことで、内容に合わせて感情を込めて音読したり、写真に合わせて間をとったり工夫しながら、よりよい音読をしようとする意欲が見られた。また、グループで協働学習をすることで、話し合いながら読み方を工夫することができた。

●実践の手応え

本教材は、文章の構成の効果や表現の効果も工夫して、物語を創作⑩教材である。書くことが苦手な児童にとっても、自分たちが撮影した写真を基に物語を作ることで、文章の構成に気を付けて書くことが⑩デジタル物語を作ることは児童の意欲だけでなく、文章と写真の構成を考えるうえで有効だと思う。